

女性会員の紹介

今回は、高森剣道クラブに所属している「砂子啓子さん」（5段）を紹介いたします。

啓子さんは現在専業主婦で、小学生の子供さんが2人おり、ご主人（砂子太郎氏）は7段です。10年前に泉区に引っ越してこられ、子供さんが生まれてから10年間は剣道の稽古から遠ざかっていましたが、子供さんも成長し、ようやく剣道の稽古が始められたとのことでした。

13年前に5段を取得されたとのことですから早13年も経過したところですが、道場では啓子さんは初心者クラスの指導を、ご主人は社会人の指導に当たっているとのことでした。親子4人そろって稽古ができる喜びを次のように語っていただきました。

○親子と一緒に寒い暑いを体験できる。

○親の頑張りを見てくれる。

○礼儀正しく、武士の所作を覚えてくれる。

とのことでした。

初心者への指導に当たっては、DVDを見たりしながら、日常動作にはない「蹲踞」「残心」「手を絞る」など剣道特有の専門用語をいかに分かり易く伝えることができるかの勉強に努めているとのこと、毎日がとても充実しているそうです。

インタビュー：26. 4. 29第16回泉区女子剣道大会で 小笠原事務局次長

